

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●2024年度JRA賞年度代表馬はドウデュースが受賞

2024年度のJRA賞競走馬部門各賞は下記の通りとなりました。

- 年度代表馬……………ドウデュース(栗東・友道康夫厩舎)
- 最優秀2歳牝馬……………クロウデュノール(栗東・斉藤崇史厩舎)
- 最優秀2歳牝馬……………アルマヴェローチェ(栗東・上村洋行厩舎)
- 最優秀3歳牝馬……………ダノンデサイル(栗東・安田翔伍厩舎)
- 最優秀3歳牝馬……………チェルヴィニア(美浦・木村哲也厩舎)
- 最優秀4歳以上牝馬……………ドウデュース(栗東・友道康夫厩舎)
- 最優秀4歳以上牝馬……………スタニングローズ(栗東・高野友和厩舎)
- 最優秀スプリンター……………ルガル(栗東・杉山晴紀厩舎)
- 最優秀マイラー……………ソウルラッシュ(栗東・池江泰寿厩舎)
- 最優秀ダートホース……………レモンポップ(美浦・田中博康厩舎)
- 最優秀障害馬……………ニシノデイジー(美浦・高木登厩舎)
- 特別賞……………フォーエバーヤング(栗東・矢作芳人厩舎)

●2024年度JRA賞調教師・騎手部門の受賞者決定

2024年度JRA賞の調教師部門は、矢作芳人調教師(栗東)が最多勝利、田中博康調教師(美浦)が最高勝率と優秀技術、友道康夫調教師(栗東)が最多賞金獲得の各タイトルを受賞。騎手部門はクリストフ・フルメール騎手(栗東・フリー)が最多勝利、最高勝率、最多賞金獲得の三冠を達成して自身2度目となる「騎手大賞」に輝き、戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)がMVJ、小牧加矢太騎手(栗東・音無孝孝厩舎)が最優秀障害騎手、高杉吏麒騎手(栗東・藤岡健一厩舎)が最多勝利新人騎手、武豊騎手(栗東・フリー)が特別賞を受賞しました。また馬事文化賞はバリ2024オリンピック総合馬術・団体日本代表が受賞しています。

●デュアリスト、プロミストウォリアの競走馬登録抹消

2020年兵庫ジュニアグランプリ(園田・JpnII)の勝ち馬デュアリスト(牡6歳/栗東・福永祐一厩舎/JRA通算22戦5勝・地方3戦1勝)と、2023年東海テレビ杯東海S(GII)などの勝ち馬プロミストウォリア(牡7歳/栗東・野中賢二厩舎/JRA通算10戦6勝・地方1戦0勝)は、2024年11月13日(水)付で競走馬登録を抹消されました。デュアリストは地方・大井競馬へ移籍し、プロミストウォリアは北海道日高町のブリーダーズ・スタリオン・ステーションで種牡馬となる予定です(年齢は抹消時)。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●園田ジュニアCは無敗馬オケマルが圧勝【各地の主要2歳重賞】

園田ジュニアC(12月31日、園田、1700m)は、逃げたネクストスター園田の覇者オケマル(牡、父ニューイヤーズデイ)が7馬身差で圧勝、単勝1.6倍の支持に応じてデビュー以来の連勝を4に伸ばしました。新設重賞のジュムストーン賞(12月5日、大井、1200m)は、先手を取った5番人気のプリムスパールス(牡、父ベストウォーリア)が後続を4馬身引き離して逃げ切り勝ち。金の鞍賞(12月28日、高知、1400m)は、2番手を進んだ2番人気のリケアマキアート(騾、父リアルスティール)が直線の競り合いを制し、JRA(2戦未勝利)から高知に転入後4連勝。4戦全勝で単勝1.1倍の圧倒的支持を集めたドライブアウェイは出遅れて後方からの競馬を強いられ、7着に沈んでいます。金杯(12月30日、水沢、1600m)は、3番手前後を追走した5番人気の北海道からの転入馬ラヴェイ(牡、父エイシンフラッシュ)が直線に入って間もなく先頭に立って初の重賞制覇。ライデンリーダー記念(12月30日、笠松、1400m)は、後方から追い上げた3番人気の北海道から愛知への移籍馬ページェント(牡、父ドレフォン)が直線半ばで抜け出して優勝。東京2歳優駿牝馬(12月31日、大井、1600m、牝馬)は、4～5番手から直線内目を突いた7番人気の伏兵ブラウドフレール(父ニューイヤーズデイ)が残り150mで差し切っています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●2024年の英愛馬統計～英愛首位種牡馬はダークエンジェル

2024年の英愛チャンピオンサイヤーにダークエンジェル(2005年生まれ、父アクラメーション)が輝きました。イギリスではチャリン(欧州最優秀古馬)がG1クイーンアンSとG1クイーンエリザベスII世Sを、カーデムがG1クイーンエリザベスII世ジュビリーSを制しています。獲得賞金507万7207ポンド(約9億9513万円/1ポンド=196円で換算。以下同じ)で、初の栄冠となりました。5月4日(英2000ギニー開催日)から10月19日(英チャンピオンズデー)までの期間で争われたイギリスの騎手はO.マーフィー騎手(29歳)が163勝を挙げて2019～21年以来、3年ぶり4度目のチャンピオン。イギリスでは上記カーデムのクイーンエリザベスII世ジュビリーSのほか、アスフォーでG1キングチャールズIII世Sにも優勝しました。1月1日～12月31日を集計期間とするイギリスの調教師はアイルランドに拠点を持つA.オブライエン調教師(55歳)が獲得賞金833万7011ポンド(約16億3405万円)で2001、02、07、08、16、17年に続く、7年ぶり7度目の首位。イギリスではシティオブトロイで制した英ダービー、エクリプスS、英インターナショナルS、オーギュストロダンのプリンスオブウェールズSなどG1・11勝を挙げました。